事業報告書

日本母乳バンク研究会

2020年12月に任意団体として日本母乳バンク研究会が発足した。日本財団のご支援のもと事務所（空気清浄機・エアコンを新たに装備）とバイオメディカルフリーザー2台を設置できた。これにより母乳セントラルバンクの機能を果たすことができ、低温殺菌処理済みのドナーミルクを保存できるようになった。結果として、ドナー登録を再開でき、母乳バンクの取り組みが好循環に結び付いた。

また、伊達緑・田中未央里の二人の研究者をパート雇用できるようになり、母乳分析を始めることができた。結果は別に添付する日本母乳哺育学会学術集会抄録に記載している。当初の目的の第一歩を日本母乳バンク研究会として踏み出すことができたのは本当に有難いことである。